

令和4年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	高等学校 改訂版 標準現代文B (第一学習社)		
副教材等	標準現代文B学習課題集 (第一学習社)				

学習の目標	1 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語力の向上を図り人生を豊かにする態度を育てます。 2 論理的思考力や想像力を身に付け、自分の意見を的確に表現する力を養います。
学習の方法	・授業に集中して取り組み、本文を要約したり、自分の考えを書いたり発表したりする活動に積極的に参加しましょう。また、ノートの整理などもきちんとしておきましょう。 ・学習課題集の問題を解いたり、漢字や語句の意味を調べたりして、語彙力を高めましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価				
			①	②	③	④	⑤
1 学期 中間	世界を見つめる ワスレナグサ	・随筆の読解の仕方を知得します。 ・自然と人間のかかわりについて見つめ直し、自らの考えをまとめ発表します。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	◎	—	○
	小説を読む(一) 話を聞かせて	・作品の構成の特徴や、「私」の心情の変化について理解します。 ・働くことや、人を思いやることなどについて考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	◎	—	—	○
1 学期 末	新しい視点 記憶のゆがみ	・論理的な文章を読解します。 ・記憶の仕組みを理解し、記憶がゆがむことでどのような影響があるか、自身の生活に引き付けて考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
	詩を味わう 食事 ころも 他	・近現代の詩の鑑賞の仕方を知得します。 ・詩に込められた作者の思いを読み取ります。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	◎	—	○
2 学期 中間	生への思索 鏡としての他者	・「自己とは他者である」とはどのような意味か把握します。 ・他者との関係の中で自己を考えるとという視点から、自己について考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
	小説を読む(二) 卒業	・場面における登場人物の心情の変化を読み取ります。 ・自己の生き方について思索を深めます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
2 学期 末	短歌と俳句 折々のうた	・評論の形を取った文章の読解を通して、近代短歌・近代俳句の干渉の仕方を知得します。 ・短歌・俳句を味わい、鑑賞文を書きます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	◎	—	○
	人間と社会 経験の教えについて	・具体例と抽象的な記述との関係を理解します。 ・経験に学ぶことの難しさと重要性を、自己の問題として考えます。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	—	—	◎	○
学 年 末	小説を読む(三) 山月記	・漢文調の独特の表現を理解します。 ・主人公の変身に込められた意味を考え、この小説の主題をまとめ、発表します。 ・小テスト、ノート、定期考査	○	◎	—	—	○
	言語活動 情報の探し方	・目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用する方法を知得します。 ・自ら目的を設定し、図書館・インターネットなどを利用して、必要な情報を収集します。 ・小テスト、レポート	○	—	◎	—	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 話す・聞く能力	行動の観察、発表、プレゼンテーション	10
③ 書く能力	課題プリント、レポート、定期考査	20
④ 読む能力	課題プリント、定期考査	20
⑤ 知識・理解	ノート、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史A	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	日本史A 改訂版 (山川出版社)		
副教材					

学習の目標	1 近現代史を中心とする日本の歴史を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解します。 2 現代の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養います。
学習の方法	・中学時代には学習していない項目が多数ありますので、授業に集中することが大切です。 ・家庭学習では復習に重点を置いてください。教科書とともに、授業中に指示された資料は、家庭で熟読して理解を深めていくように心掛けてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	序章 近世社会の動揺と近代への胎動	・幕藩体制が動揺する中での幕府・諸藩が行った諸改革や、経済構造の変化、日本をとりまく国際情勢について理解します。 ・ノート、プリント整理	○	◎	—	—
	第1章 開国と明治維新	・開国から江戸幕府の滅亡に至る過程について、列強の進出によるアジア情勢の変化に着目して理解します。 ・ノート、プリント整理、定期考査	○	○	—	◎
1 学期 末	第1章 開国と明治維新	・大政奉還から廃藩置県・徴兵令に至る幕末・明治初期の政治的変革と国家的統一過程を理解します。 ・ノート、定期考査	○	◎	—	○
	第2章 立憲国家の成立	・立憲国家が成立した背景を、民権運動の展開や憲法制定、産業革命の経過などから総合的に理解します。 ・ノート、パフォーマンステスト、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 中間	第3章 第一次世界大戦と日本	・第一次世界大戦の背景や日本への影響について、政党政治や産業構造の変容などを取り扱いながら理解します。 ・ノート、課題プリント、定期考査	○	○	—	◎
	第4章 昭和の恐慌と満州事変	・協調外交や政党政治のゆきづまりの背景を、金融恐慌から昭和恐慌に至る日本経済の動揺と関連させながら理解します。 ・ノート、定期考査	○	○	—	◎
2 学期 末	第4章 昭和の恐慌と満州事変	・満州事変に始まる中国侵略の本格化と政党政治の終焉という内外の激動が連動して進行する過程を理解します。 ・ノート、課題プリント、定期考査	○	◎	—	○
	第5章 第二次世界大戦と日本	・太平洋戦争の始まりや終戦に至る過程を、戦争にともなう国家統制の強化や国民生活の崩壊とともに理解します。 ・ノート、パフォーマンステスト、定期考査	○	◎	○	○
3 学期	第6章 占領下の日本	・占領政策及び戦後の民主化政策とそれにとともなう諸改革について、東アジア情勢の変化を踏まえて内容を理解します。 ・ノート、課題プリント	◎	○	—	○
	第7章 経済繁栄と保守長期政権	・冷戦秩序の下での国内政治について、産業構造の高度化などを背景とした経済成長とともに理解します。 ・ノート	◎	○	○	—
	第8章 現代の世界と日本	・世界の人々が共存し持続可能な社会を実現していくための方策を考え、人類の課題について歴史的な視点から探究します。 ・レポート・パフォーマンステスト	○	◎	○	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、発表、学習プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 資料活用 of 技能	発表、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	数学	科目	数学探究A	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	数学探究A (学校作成教科書)		
副教材等	就職問題集 (愛媛県高等学校教育研究会数学部会)				

学習の目標	数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解し、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学を活用していく能力を身に付けます。
学習の方法	・これまでに習った内容を復習し、基礎・基本の事項を定着させてください。 ・就職試験に向けて過去問題を解き、より実践的な学習を行ってください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 比と歩合	・割合、仕事量、価格計算、食塩水の濃度などの問題について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	-	○
	第2章 数と式の計算	・基本的な四則演算から応用力が必要な文章題まで学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	-	-	◎
1 学期 末	第3章 1次方程式と1次関数	・1次方程式を解く問題を中心に学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	-	-	◎
2 学期 中間	第4章 図形	・図形に関する内容を復習し、問題を解きます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	-	◎	○
	第5章 その他SPI頻出問題	・数的推理問題などを解きます。 ・課題プリント、ノート、小テスト	○	◎	○	-
2 学期 末	第6章 2次方程式と2次関数	・2次関数のグラフや方程式を立てて解く問題について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	-	○	◎
	第7章 不等式	・不等式を解き、最適な解を導く問題について学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	-	○	◎
	第8章 三角比と三角関数	・三角比について復習し、図形に関する問題を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	-	◎	-
3 学期	第11章 場合の数と確率	・場合の数と確率について復習し、身の回りにある問題を学習します。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	-	-	◎
	第13章 総合問題	・これまでに学んだ知識を活用して、総合的な問題に挑戦します。 ・課題プリント、ノート、小テスト	○	◎	○	-
	家庭学習	・自主的・自発的な演習問題を行います。 ・課題プリント、ノート				

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	学習への取組状況、発表、課題プリント、ノート	20
② 数学的な見方や考え方	学習への取組状況、発表、ノート、小テスト、定期考査	30
③ 数学的な技能	板書の整理状況、ノート、小テスト、定期考査	10
④ 知識・理解	定期考査、小テスト、課題プリント	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	現代高等保健体育 改訂版 (大修館)		
副教材等					

学習の目標	1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。 2 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養い、健康・安全・運動についての課題を主体的に解決する意欲や能力を育てます。
学習の方法	・体づくり運動、球技・武道(選択)、ダンス・陸上競技(選択)を通して、自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てます。 ・体育理論では、豊かなスポーツライフの設計の仕方について学びます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	
1 学期	体づくり運動	・体ほぐし運動を通して体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、心と体が互いに影響し変化することに学びます。 ・行動の観察	○	○	◎	
	選択1 (球技【ソフトボール・バレーボール・テニス】・武道)	・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技	◎	○	○	
	体育理論	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・発表、小テスト	◎	○	○	
2 学期	体づくり運動	・体力を高める運動を行います。その際、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和の取れた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立てて取り組むようにします。 ・行動の観察	○	○	◎	
	ダンス	・宇和島東高校で受け継がれている動きを表現します。テーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で対極の動きや空間の使い方の変化をつけて即興的に表現することで、イメージを具現化した作品にします。 ・行動の観察、発表	◎	○	○	
	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技	◎	○	○	
	体育理論	・豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを目指します。 ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について学習を主体的に取り組むようにします。 ・行動の観察、小テスト	○	◎	○	
3 学期	選択(球技【バスケットボール・サッカー・テニス】・武道)	・球技では、多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解します。仲間と連携しゲームを展開し、生涯にわたって運動を豊かに継続するための意欲を育みます。 ・武道では、相手を尊重するとともに、礼法などの伝統的な行動を大切に、得意技を用いた攻防が展開できるようにします。 ・パフォーマンス評価、実技	◎	○	○	

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 知識及び技能	行動の観察、パフォーマンステスト、実技	40
② 思考力、判断力、表現力等	行動の観察、各先生の評価プリント、発表、小テスト	30
③ 学びに向かう力、人間性等	行動の観察、各先生の評価プリント	30

令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)		
副教材等					

学習の目標	1 音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組みます。 2 音楽のよさや美しさを理解し、自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして個性豊かに表現します。 3 多様な音楽に対する視野や理解を深め、主体的に鑑賞します。
学習の方法	・歌唱では、音楽Ⅰより難易度の高い歌曲を歌います。授業での楽曲や演奏方法に関する説明をよく聞き、理解して演奏してください。 ・器楽では、コード進行を学習しながら創作活動にも生かせる旋律と伴奏の演奏を練習します。器楽で学習した鍵盤楽器を使ってテーマに合う作曲ができるよう、日常生活の中にある様々な音楽に興味を持ってください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	歌唱 ポピュラー・ソング	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。 発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。 練習への取り組み方、実技テスト 	○	◎	○	-
	歌唱 日本歌曲 イタリア歌曲	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の内容や楽曲の背景を理解し、イメージを持って歌います。 発音を学びながら諸外国の文化を理解し、表現を工夫して歌います。 練習への取り組み方、実技テスト 	○	◎	○	-
	器楽 鍵盤楽器	<ul style="list-style-type: none"> ピアノの基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。 練習への取り組み方、実技テスト 	○	○	◎	-
	鑑賞 ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、表現の特徴を理解して鑑賞します。 ワークシート 	○	-	-	◎
2 学期	創作 音階から音楽を作ろう	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞を考え、言葉の抑揚に合うメロディーを作ります。 自分のイメージに合う音階を選び、メロディーを作ります。 授業態度、ワークシート、実技テスト 	○	◎	○	-
	西洋音楽史・楽典	<ul style="list-style-type: none"> 様々な時代の音楽や作曲者の特徴と、文化的・歴史的背景との関わりについて学びます。 楽譜の書き方や、読み方について学びます。 ワークシート、小テスト 	○	-	◎	-
3 学期	器楽 ヴァイオリン	<ul style="list-style-type: none"> ヴァイオリンを通して、西洋の文化的・歴史的背景や特徴を理解します。 ヴァイオリンの基本的奏法を習得し、表現を工夫して演奏します。 練習への取り組み方、実技テスト 	○	◎	○	-

(備考) ヴァイオリンは、音楽選択者全員で使用します。丁寧に扱い、授業後は整理整頓に努めてください。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	授業態度、練習への取り組み方、ワークシート	20
② 音楽表現の創意工夫	実技テスト、練習への取り組み方	30
③ 音楽表現の技能	実技テスト、小テスト、パフォーマンステスト	30
④ 鑑賞の能力	ワークシート	20

令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	美術2 (光村図書)		
副教材等					

学習の目標	1 1年次の学習内容に継続し、表現力や想像力を更に伸ばします。 2 これまでの知識、技術及び経験像を基に、主体的、個性的な表現を追求します。 3 鑑賞活動を通して、他人の考えを尊重し自分の考えを適切に表現します。
学習の方法	・すべての表現活動において、主にアクリル絵の具を使用します。 ・1年の学習を踏まえて、より高度な美術作品の制作や学習を行っていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 作家の生涯と作品	<ul style="list-style-type: none"> ・アルヴァ・アアルトの生涯と作品を通して、建築への考え方やデザインの工夫を学びます。 ・線遠近法、透視図法で自分が理想とする部屋を設計し、形になる面白さを味わいます。 ・授業への取り組み、実技、作品、レポート 	○	○	◎	○
	2 アニメーションを作る	<ul style="list-style-type: none"> ・方眼工作用紙で立方体を作り組み立てることで、ノマキューブの構造を理解します。 ・展開した後、最初に戻る構造から何度も繰り返される物語を考え、描きます。 ・授業への取り組み、行動の観察、作品 	◎	○	○	—
2 学期	3 絵画表現 うつろう自然を描く(金屏風の制作)	<ul style="list-style-type: none"> ・金屏風の制作を通して、日本美術や日本の伝統文化についての理解を深めると共に、日本独特の絵画様式について学びます。 ・金屏風の構成の難しさや、立体的に絵を表現する面白さを味わいます。 ・国宝の屏風絵などの鑑賞を通して、日本美術の歴史を学びます。 ・授業への取り組み、実技、作品、レポート 	○	◎	○	○
	4 絵画表現 見えるものの向こうに(植物の細密画)	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の細密画を通して、身近にあるものを深く観察することで、対象が持つさまざまなかたちを探り、自然の造形の面白さを味わいます。 ・緻密な表現を通して写真表現の技法を学びます。 ・授業への取り組み、作品、レポート 	○	◎	○	○
3 学期	5 心の記録、想像の源(抽象表現)	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象表現作品制作を通して、具象作品との違いや鑑賞の仕方を学び、よさを味わいます。 ・偶然できた色や形から着想する描画法など、様々な技法を学びます。 ・授業への取り組み、作品、レポート 	○	○	◎	○
	6 そこから見えるもの(鑑賞)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な作品を鑑賞し、その作品から自分が見たもの、感じたことを発表し、他者との視点や捉え方の違いを知り、様々な角度から作品を鑑賞します。 ・授業への取り組み、発表、レポート 	○	—	—	◎

(備考) ・美術教室の道具類は美術選択者全員が使用します。丁寧に扱い、実習終了後の整理整頓を心掛けてください。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 美術への関心・意欲・態度	授業への取り組み、行動の観察	10
② 発想や構想の能力	行動の観察、作品	40
③ 創造的な技能	実技、作品	30
④ 鑑賞の能力	レポート、発表	20

令和4年度 シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	学年・学科・類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	書Ⅱ（教育図書）		
副教材					

学習の目標	1 様々な書体を勉強し、古典の美に触れ、感性を磨きます。 2 古典を臨書し、様々な書体を書くための技術を身に付けます。 3 日常生活に即した、整った字の書き方を学びます。
学習の方法	・古典の臨書を通して、観察力や技術を学び、集中力を養います。 ・書の歴史を学び、作品への理解を深めます。 ・古典で学習した内容を、創作活動に活用します。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期	1 楷書	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で学習したことの復習をします。 ・日本で独自に発展した書の文化を鑑賞しながら、臨書します。 ・臨書への取組、作品 	○	◎	-	○
	2 行書	<ul style="list-style-type: none"> ・書Ⅰでの学習を基に、作品への理解をより深めていきます。 ・いろいろな古典作品を鑑賞しながら、臨書します。 ・臨書への取組、作品、感想文 	○	◎	○	○
2 学期	3 草書	<ul style="list-style-type: none"> ・字の崩し方の原理を学習し、流動する用筆美を味わいます。 ・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。 ・臨書への取組、作品 	○	◎	-	○
	4 隸書	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の特徴を理解し、字形や用筆法を学習します。 ・古典作品のそれぞれの特徴をとらえて、臨書します。 ・臨書への取組、作品 	○	◎	-	○
	5 篆書	<ul style="list-style-type: none"> ・書体の特徴を理解し、字形や用筆法を学習します。 ・臨書への取組、作品、感想文 	○	◎	○	○
3 学期	6 仮名	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の特徴を捉えて、流動する仮名独特の用筆美を学びます。 ・臨書への取組、作品 	○	◎	-	○
	7 創作（漢字）	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習した臨書作品を元に、創作をします。 ・応用力、作品、感想文 	○	-	◎	○

（備考）書道の道具類は、丁寧に扱い、後片付けもしっかり行ってください。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 書への関心・意欲・態度	学習活動の観察	2.0
② 書表現の構想と工夫	臨書への取組、作品	4.0
③ 創造的な書表現の技能	応用力、作品	3.0
④ 鑑賞の能力	感想文	1.0

令和4年度 シラバス

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	Power On English Communication II (東京書籍)		
副教材等	英単語ターゲット1200 (旺文社)				

学習の目標	1 英語を理解し英語で表現しようとする、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けます。 2 教科書等の英語を読んだり聞いたりしたことに対する自分の感想や意見を、適切な英文で表現できる理解力と表現力を習得します。 3 基本的な構文や文法、語彙を習得します。全商英語検定2級以上を目標とします。
学習の方法	・授業は、予習を前提に実施されます。教科書本文を段落構成に注意しながら読み、各段落の要点をつかんだ上で授業に臨みましょう。 ・英語を読んだり聞いたりしたときや自分の意見を表現するときに、辞書や文法書を活用して解決する姿勢を身に付けましょう。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Lesson 7 The Power of Color	<ul style="list-style-type: none"> ・色が持つ力について学びます。 ・言葉や文字以外のコミュニケーションの重要性を学びます。 ・同格、前置詞+関係代名詞を学びます。 ・パフォーマンステスト、エッセイ、定期考査、小テスト 	○	◎	○	○
1 学期 末	Lesson 8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なスポーツ選手を取り上げ、彼らの偉業を学びます。 ・夢を実現させるための戦略について学びます。 ・付帯状況、while節、to+have+過去分詞、助動詞+完了形を学びます。 ・パフォーマンステスト、エッセイ、定期考査、小テスト 	○	○	◎	○
2 学期 中間	Lesson 9 From Owing to Sharing	<ul style="list-style-type: none"> ・過去と現代の違いを学びます。 ・所有から共有への価値観を学びます。 ・強調表現、It is said+that…、形式目的語、過去完了進行形を学びます。 ・パフォーマンステスト、エッセイ、定期考査、小テスト 	○	◎	○	○
2 学期 末	Lesson 10 Solar Cooking	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の構築について学びます。 ・ソーラーパワーを活用したオーストラリアのバスを例に挙げ、現在行われている様々な活用事例に対する見識を深めます。 ・be動詞+不定詞、wishの用法、関係副詞where, whenの非制限用法 ・パフォーマンステスト、エッセイ、定期考査、小テスト 	○	◎	○	○
3 学期	3年生のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・英文の読解を通して、既習事項の復習を行います。 ・パフォーマンステスト、エッセイ、小テスト 	◎	○	○	○

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	言語活動への参加状況、パフォーマンステスト	30
② 外国語表現の能力	口頭発表、エッセイ、定期考査、パフォーマンステスト	20
③ 外国語理解の能力	口頭発表、エッセイ、定期考査、小テスト	20
④ 言語や文化についての知識・理解	口頭発表、定期考査、パフォーマンステスト	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭総合	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	新家庭総合 主体的に人生をつくる (大修館)		
副教材等	家庭科ノート・調理実習ノート基礎編 (愛媛県家庭科教育研究会)				

学習の目標	1 よりよい生活を創る (食生活分野)、生命を育てる、消費生活について学び、人生を主体的に切り開く力を身に付けます。 2 生活の中で生じる課題を主体的に解決する実践的態度を養います。
学習の方法	・自立するために必要な実践力が身に付くよう学習してください。 ・実習中は技術の習得とともに、コミュニケーションをとって協力するよう心掛けてください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第7章 生涯の健康を見直した食生活をつくろう 1 食生活の成り立ち	・日本の風土から生まれた日本食の基本や日本の食文化について学習します。 ・課題プリント、定期考査、調理実習、ノート、行動の観察、発表	○	○	◎	○
	2 栄養と食品	・健康な生活を送るうえで必要な栄養素とその主な働きについて学習します。 ・課題レポート、定期考査、調理実習、ノート、行動の観察、発表	○	○	◎	○
1 学期 末	3 安全で環境に配慮した食生活 4 食文化を考えよう	・食品の品質表示を読み取り、身体状況に応じた食品を選択できるよう学びます。 ・課題レポート、定期考査、調理実習、ノート、行動の観察、発表	○	○	◎	○
	5 健康につながる食事計画 6 調理の基本を学ぼう	・個々の1日に必要なエネルギー量を計算し、自分に必要な摂取エネルギーに合った献立を立てます。 ・献立作成、調理実習、ノート、定期考査、行動の観察、発表	○	◎	○	○
2 学期 中間	第3章 子どもと子育てについて知ろう 1 子どもの誕生	・乳幼児期は一生を通じての人間の発達の基礎をつくる最も重要な時期であることを学びます。 ・課題プリント、定期考査、ノート、行動の観察、発表	◎	○	○	○
	2 子どもの成長・発達	・からだの発育、発達には個人差があるが、一定の法則があることを学びます。 ・課題プリント、定期考査、ノート、行動の観察、発表	◎	○	○	○
2 学期 末	3 子どもの生活と保育	・子どもにとって生活習慣を身につけることの重要性を知り、家族の果たす役割を考えます。 ・課題プリント、定期考査、ノート、保育園訪問、行動の観察、作品	○	○	◎	○
	4 子育てと子どもが育つ環境	・子育て支援について考え、地域や社会が果たす役割について学びます。 ・課題プリント、定期考査、ノート、保育園訪問、行動の観察、発表	○	○	○	◎
3 学期	第11章 生活をデザインしよう	・自分らしく生きるために、自分の価値観にもとづいて、生活設計を立てることの必要性を学びます。 ・課題プリント、ノート、調理実習、行動の観察、発表	◎	○	○	○
	生活設計とは	・個人の生活設計と家族の生活設計を関連させ、将来の設計をする必要性を学びます。 ・課題プリント、ノート、行動の観察、発表	○	◎	○	○

(備考) 1,2学期の定期考査は、期末に行う。3学期の学年末考査は行わない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、課題プリント、定期考査	20
③ 技能	作品、実習	30
④ 知識・理解	ノート、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	家 庭	科 目	フードデザイン	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	2	教科書	フードデザイン 新訂版 (実教出版)		
副教材等	調理実習ノート専門編 (愛媛県家庭科教育研究会)				

学習の目標	1 食事の意義と役割について理解するとともに、作ることから食べるところまでを総合的にとらえて計画する意欲と実践的な態度を身に付けます。 2 実習を通して、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を身に付けます。
学習の方法	・栄養と調理の関連性を学び、献立作成能力が身に付くよう学習してください。 ・テーブルコーディネートやテーブルマナーが身に付くよう心掛けてください。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1章 食生活と健康	・食事の意義や食生活の現状や問題点を理解させ、自分自身の食生活を見直し、改善することができるよう学習します。 ・小テスト、ノート、行動の観察	○	○	◎	○
	2章 栄養素のはたらきと食事計画	・食事摂取基準について、自分のエネルギー必要量が計算でき、献立作成に活用できるよう学習します。 ・小テスト、調理実習、ノート、行動の観察	○	○	◎	○
1 学期 末	3章 食品の特徴・表示・安全	・食品の特徴、調理上の性質、加工品について理解できるよう学習します。 ・実技テスト、調理実習・実験、ノート、行動の観察	○	○	◎	○
2 学期 中間	4章 調理の基本 7章 食育	・基本的な調理器具や調理の手法の基礎理論を学習します。 ・食育基本法や家庭や地域における食育推進活動について学習します。 ・小テスト、調理実習、ノート、行動の観察	○	○	◎	○
2 学期 末	5章 料理様式とテーブルコーディネート	・日本料理・西洋料理・中華料理について、それぞれの特徴、献立構成、食卓構成、作法について学習します。 ・実技テスト、調理実習・実験、ノート、行動の観察	○	○	◎	○
3 学期	6章 フードデザイン実習	・行事食についてテーブルコーディネートを取り入れ、食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境づくりを学習します。 ・調理実習、課題プリント、行動の観察	○	○	◎	○

(備考) 1、2学期は実技テストを行う。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	30
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表	20
③ 技能	作品、実習	30
④ 知識・理解	ノート、課題プリント、小テスト	20

(備考) 実習教科のため実習を重視した評価を行う。

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書			
副教材等					

学習の目標	1 自らの課題の設定、学習計画の立案・研究を行い、実践することにより、計画力、実践力、問題解決能力を身に付けます。 2 日商簿記検定2級の合格を目標に、自主的・計画的に学習を進めます。
学習の方法	日商簿記検定2級の取得を目指し、講義をもとに、基本的な内容から応用的な内容まで幅広く学習を進め、多くの問題を解きながら理解力を深めていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	商業簿記 重要仕訳問題	・2年次までに学習した簿記・会計の知識をもとに、日商簿記検定で必要とされる力の定着を図ります。また、苦手部分の克服に力を入れ、得点力向上につなげていきます。 ・行動の観察、小テスト、グループ研究、学習プリント	○	◎	○	○
1 学期 末	商業簿記 個別論点問題	・固定資産、有価証券、商品売買、預金調整、株主資本などの個別的論点について重点的に学習を進め、より理解を深め、応用的な出題に対応できる力を身に付けていきます。 ・行動の観察、小テスト、グループ研究、学習プリント	○	◎	○	○
2 学期 中間	商業簿記 決算問題	・精算表の作成、貸借対照表の作成、損益計算書の作成が正確にできる力を身に付けます。そのためには、簿記の一連の流れを正確に理解した総合的な力を身に付けます。 ・行動の観察、小テスト、グループ研究、学習プリント	○	○	○	◎
2 学期 末	工業簿記 演習	・個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算、本社・工場の取引、製造原価報告書などについて、2年次の原価計算の学習を基礎として、演習を繰り返すことにより、検定に対応できる力を身に付けます。 ・行動の観察、小テスト、グループ討議、学習プリント	○	◎	○	○
3 学期	模擬問題・過去問題	・検定試験の直前準備として、問題演習を繰り返し、検定試験に備えます。 ・行動の観察、グループ討議、学習プリント	◎	○	○	○

(備考) 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、小テスト、グループ研究、グループ討議、学習プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、小テスト、グループ研究、グループ討議、学習プリント	30
③ 技能	小テスト、学習プリント	20
④ 知識・理解	小テスト、学習プリント	30

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書			
副教材等					

学習の目標	<p>1 ビジネスに関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に付ける。</p> <p>2 秘書検定およびリテールマーケティング検定の合格を目指して主体的に学習に取り組み、知識や技能、接遇マナーなどを身に付けます。</p>
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の講義形式ではなく、自らが主体となって学習に取り組み、課題を見つけ、自発的に解決していきながら学習します。 ・ビジネスに関する知識や技能を基礎的な内容から応用的な内容へと段階的に学習し、秘書検定2級、リテールマーケティング検定3級の合格に挑戦します。 ・練習問題を数多く解き、理論や実技の知識を身に付け、また実社会を創造したり、実践して理解を深めていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 ガイダンス・年間計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標や内容、取組姿勢など正しく理解し、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に付けます。 ・行動観察、実習日誌 	◎	○	-	-
1 学期 末	2 秘書検定基礎演習	<ul style="list-style-type: none"> ・秘書の資質、職務知識・一般知識、マナー・接遇、技能について学習し、職務の知識や技術の習得とともに、秘書検定試験合格を目指して主体的に学習します。 ・行動の観察、実習日誌、実習の進捗、小テスト、検定試験 	○	○	-	◎
2 学期 中間	3 調査・研究演習	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎演習で得た知識や技術をもとにして、自らの研究テーマと研究計画を設定し、ビジネスに関する現状や課題を調査・研究して報告書の作成や発表準備を行います。 ・行動観察、実習日誌、実習の進捗、レポート、プレゼンテーション 	○	◎	○	-
2 学期 末	4 リテールマーケティング検定基礎演習	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業の種類、マーチャндаイジング、ストアオペレーション、マーケティング、販売経営管理について学習し、販売技術や消費者動向を読み取る能力などビジネスに必要な知識や能力を身に付けるとともに、リテールマーケティング検定試験合格を目指して主体的に学習します。 ・行動の観察、実習日誌、実習の進捗、小テスト、検定試験 	○	○	-	◎
3 学期	5 成果報告およびまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果を発表することにより、思考力や表現力、プレゼンテーション能力を養い、他の研究報告からビジネスに関する知識や技術を深めていきます。 ・行動の観察、実習日誌、課題プリント、発表、プレゼンテーション 	○	◎	-	○

(備考) 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、実習日誌、発表、実習の進捗、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、実習日誌、小テスト、レポート、プレゼンテーション	20
③ 技能	実習日誌、実習の進捗、小テスト、レポート、プレゼンテーション	20
④ 知識・理解	実習日誌、課題プリント、検定試験	40

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書			
副教材等					

学習の目標	1 マルチメディアを活用してビジネス情報を創造的に表現し、わかりやすく、説得力のある文書を作成するための知識と技術を身に付けます。 2 ソフトウェアを活用したプレゼンテーションなどにより、ビジネスにおける総合的な情報発信力を身に付けます。
学習の方法	・通常の講義形式ではなく、自らが主体となって学習に取り組み、課題を見つけ、自発的に解決していきながら学習します。 ・マルチメディアに関する知識や技能を基礎的な内容から応用的な内容へと段階的に学習し、ポスターのデザインや動画編集の作品を作成します。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 ガイダンス・年間計画	・学習の目標や内容、取組姿勢など正しく理解し、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を身に付けます。 ・行動観察、実習日誌	◎	○	-	-
1 学期 末	2 図形情報の作成と編集	・コンピュータグラフィックス・ソフトウェアに関する基礎的・基本的な操作方法を習得するとともに、視覚的なビジネス文書を作成するための技法を主体的に学習します。 ・行動の観察、実習日誌、実習の進捗、作品製作	○	○	-	◎
2 学期 中間	3 マルチメディアの利用	・動画像データの主な種類や特徴について理解するとともに動画像データの取得方法やこれを活用するための技法を主体的に学習します。 ・行動観察、実習日誌、実習の進捗、作品製作	○	◎	○	-
2 学期 末	4 プレゼンテーション	・プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、発表用の資料の整理や作成方法などの準備から発表までのプレゼンテーション技法を主体的に学習します。 ・行動の観察、実習日誌、実習の進捗、作品製作	○	○	-	◎
3 学期	5 成果報告およびまとめ	・研究成果を発表することにより、思考力や表現力、プレゼンテーション能力を養い、他の研究報告からビジネスに関する知識や技術を深めていきます。 ・行動の観察、実習日誌、課題プリント、発表、プレゼンテーション	○	◎	-	○

(備考) 1、2、3学期とも定期考査は実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、実習日誌、発表、実習の進捗、課題プリント	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、実習日誌、実習の進捗、作品製作、プレゼンテーション	20
③ 技能	実習日誌、実習の進捗、作品製作	20
④ 知識・理解	実習日誌、課題プリント	40

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 I型	
単位数	3	教科書				
副教材等	かんたん合格令和3年度ITパスポート教科書(インプレス)					

学習の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 コンピュータシステムやナット枠に関する知識を学習します。 2 担当業務を理解するために、企業活動や関連業務の知識を学習します。 3 安全に情報を活用するための法律や規定について学習し、各種規定に従って活動します。 4 業務の分析やシステム化の支援を行うための知識を学習します。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・現代のICTの発達に対応できるように専門的な知識と技能を身につけることの大切さをよく考えてもらうように、心構えを指導します。 ・テーマがコンピュータ関係のみならず、会計やセキュリティや法律などまで及ぶので、ノートづくりや定着度確認の話し合いで、時期に応じて各分野ごとにきめ細かく勉強していきます。 ・副教材や過去問題を活用し、学習の進み具合と苦手な分野の理解とを確認しつつ、資格試験の合格の可能性を高めていきます。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 ストラテジ系	<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動や経営管理に関する基本的な考え方を学習します。 ・知的財産権にはどのような種類があり、何が法律で守られ、どのような行為が違法に当たるのかを理解します。 ・身近な労働関連法規の概要を理解します。 ・オフィスツール(ソフトウェアパッケージ)を身近な業務に適用します。 ・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント 	◎	○	○	○
	2 マネジメント系	<ul style="list-style-type: none"> ・システム開発のプロセスの基本的な流れを理解します。 ・プロジェクトマネジメントのプロセスの基本的な流れを理解します。 ・ITサービスマネジメントの意義、目的、考え方を理解します。 ・企業などにおける内部統制、ITガバナンスの目的、考え方を理解します。 ・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント 	◎	○	○	○
2 学期 中間	3 テクノロジ系	<ul style="list-style-type: none"> ・基数の基本的な考え方を理解します。 ・確立と統計の基本的な考え方を理解します。 ・情報のデジタル化の基本的な考え方を理解します。 ・アルゴリズムと流れ図の基本的な考え方と表現方法を理解します。 ・プログラム言語とプログラミングの役割を理解します。 ・コンピュータの基本的な構成と役割を理解します。 ・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント 	◎	○	○	○
	3 テクノロジ系	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレーティングシステムの必要性、機能性、種類を理解します。 ・ファイル管理の考え方を理解し、基本的な機能を利用します。 ・コンピュータの種類と特徴を理解します。 ・ヒューマンインタフェースの特徴を理解します。 ・マルチメディア技術の応用目的や特徴を理解します。 ・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント 	◎	○	○	○
3 学期	4 総合問題	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の問題を活用し、問題を解いていきます。 ・行動の観察、小テスト、発表、毎時の記録表、研究成果プリント 	◎	○	○	○

(備考) 1 学期ごとの定期考査は実施しませんが、調査・研究した内容について発表会を行います。
 2 評価は、調査・研究への取組態度や発表内容を総合的に判断して行います。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、記録表、調査・研究ノート	40
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、記録表、研究成果プリント	20
③ 技能	発表手法	20
④ 知識・理解	調査・研究ノート、小テスト	20

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	課題研究	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書			
副教材等					

学習の目標	1 地元「宇和島市」の文化や歴史、観光などについて、各班別にテーマを設定して調査・研究を行います。また、各種イベントへの参加、各種コンテストへの応募を通して地域に貢献できる活動を行います。 2 問題を解決しようとする意欲を高め、自信を持って社会生活を営めるように「生きる力」を養います。
学習の方法	・扱う問題毎にテーマを設定して、問題の種類ごとに調査・研究を進めます。 ・マルチメディアを利用して、表計算ソフト、文書作成ソフト、プレゼンテーションソフトを使った資料作成や、インターネットを利用して、大学や企業のビジネス手法の調査研究を行います。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1 宇和島市についての調査研究Ⅰ	・宇和島地域の歴史・文化・観光について、各班で課題を設定して、調査研究を行います。 ・地域経済分析システム (RESAS) を活用した施策の立案・実行・検証を行います。 ・行動の観察、実習日誌、研究成果プリント	◎	○	-	○
1 学期 末	2 宇和島市についての調査研究Ⅱ	・実地調査や企業訪問の実施を行うことで、地域の課題を追究していきます。 ・行動の観察、実習日誌、作品制作、発表、パフォーマンス評価	○	-	◎	○
2 学期 中間	3 宇和島市についての調査研究Ⅲ	・各種コンテストへの応募を行います。 ・行動の観察、実習日誌、作品制作	◎	○	-	○
2 学期 末	4 宇和島市についての調査研究Ⅳ	・各種コンテストへの応募を行います。 ・行動の観察、実習日誌、作品制作	◎	○	-	○
3 学期	5 宇和島市についての調査研究Ⅴ	・1、2学期に実践した内容をまとめ、成果報告会の原稿を作成します。また、報告会を実施することで、宇和島地域の良さを再確認します。 ・行動の観察、実習日誌、作品制作、発表、パフォーマンス評価	◎	○	-	○

(備考) 1, 2, 3学期とも定期考査は実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合 (%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、作品制作、調査・研究ノート	40
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、作品制作、パフォーマンス評価	20
③ 技能	発表手法、作品政策、パフォーマンス評価	20
④ 知識・理解	課題プリント、調査・研究ノート	20

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	総合実践	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	令和4年度総合実践の手引き（宇和島東高等学校総合実践研究委員会編）		
副教材等					

学習の目標	<p>1 商業の各分野に関する知識と技術を実践的な活動を通して総合的に習得し、ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行う態度を身に付けます。</p> <p>2 知識や技術の体得のみならず、ビジネスマナーや職務に対する責任感・自主性・協調性・計画性などの資質を身に付けるとともに、職業人としての望ましい勤労観や職業観を養います。</p>
学習の方法	<p>・前半は同時同業法により、一人で1店舗を担当し、模擬取引演習（販売促進、売買取引、会計処理など）を行います。</p> <p>・後半は三人で1店舗を担当し、自由取引による模擬取引演習やMESEを用いた経営管理と経済シミュレーション演習を行います。</p>

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1学期 中間	第1章 総合実践の学習 第2章 ビジネスマナー 第3章 ビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> 総合実践における学習の目標や心得などを正しく理解するとともに、望ましい勤労観や基本的なビジネスマナーなどについて学習します。 行動観察、営業日誌、実習の手引き 	◎	○	-	-
	第4章 伝票会計記帳練習	<ul style="list-style-type: none"> 一連の売買取引において5伝票制を用いて、起票・集計・転記など伝票会計の基礎的・基本的な知識と技術を学習します。 帳票類、実習の手引、行動観察 	○	-	◎	○
1学期 末	第5章 模擬取引（基本編）	<ul style="list-style-type: none"> 関係する機関との手続や作成する書式の内容や役割を理解し、個々の業務が、企業経営全体にどのように結びついているかを考えながら学習します。 帳票及び書式、実習の手引、行動観察、営業日誌、定期考査 	○	-	◎	○
2学期 中間	第5章 模擬取引（基本編）	<ul style="list-style-type: none"> 関係する機関との手続や作成する書式の内容や役割を理解し、個々の業務が、企業経営全体にどのように結びついているかを考えながら学習します。 帳票及び書式、実習の手引、行動観察、営業日誌、定期考査 	○	-	◎	○
	第6章 経営管理と経済のシミュレーション演習（MESE）	<ul style="list-style-type: none"> 企業経営を通じて、自律的判断力（考える力）、意思決定力、寛容性、コスト意識など、社会生活に必要な基本的資質を養います。 話し合いや数値決定の際における、リーダーシップ・協調性・協力的な態度等、チームとしての活動の様子を、総合的に評価します。 実習の手引、行動観察、営業日誌 	○	◎	-	-
3学期	第7章 模擬取引（実践編－自由取引－）	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考え、実行し、自らの力で問題の解決を図りながら、ビジネスの諸活動を合理的・能率的に処理する能力と態度を養います。 帳票及び書式、実習の手引、行動観察、営業日誌 	○	○	◎	○
	第8章 期末業務（決算）	<ul style="list-style-type: none"> 財務諸表の作成手順や方法を正しく理解するとともに、計数を分析して、経営活動を正しく点検・評価する知識と態度を養います。 帳票類、実習の手引、行動観察、営業日誌 	○	○	◎	○

（備考） 1,2学期の定期考査は、期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動観察、実習の手引、営業日誌	15
② 思考・判断・表現	行動観察、定期考査	25
③ 技能	帳票及び書式、定期考査	30
④ 知識・理解	行動観察、定期考査、帳票及び書式	30

（備考） 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	商品開発	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	商品開発 (実教出版)		
副教材等					

学習の目標	1 商品を企画・開発し、流通させるために必要な知識と技術、商品開発に必要なデザインに関する知識を学びます。 2 消費者の視点に立って商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を育てます。
学習の方法	・商品開発に必要な基礎的知識を、具体的事象や事例を通して学習します。 ・教科書中心ですが、資料などを適宜利用します。また、実際の企業の事例なども利用し、まとめていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 商品と商品開発	・商品の成り立ちや何を商品として考えるのかについて理解します。また、現代社会における商品開発の観点から、企業の社会的責任や法令順守について考えていきます。 ・行動の観察、課題プリント、ノート、発表、定期考査	◎	○	—	○
1 学期 末	第2章 商品の企画	・4W1Hにより開発テーマを整理・検討し、市場細分化によって標的市場を設定し、その意義について学びます。また、商品名・商品コンセプト・キャッチコピー・商品イメージ・開発背景・競合商品に対する優位性を含めた具体的な商品企画書を作成する実習を行います。 ・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 中間	第3章 商品の開発	・商品仕様と仕様書に基づいた詳細設計、およびコンピュータによる設計とその評価について理解します。また、事業計画をまとめ、社外向けの事業計画書を作成し、プレゼンテーションを行う実習をします。 ・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 末	第4章 商品開発とデザイン	・商品開発においてデザインが果たす役割について学びます。 ・パッケージデザインの具体的な事例を取り上げ、その効果について学びます。グラフィックデザインの技法を習得し、実際にPOP広告や広告ポスターを作成する実習を行います。 ・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	◎	○
3 学期	第5章 商品開発と知的財産権 第6章 商品流通と流通を支える活動	・知的財産の保護の重要性について具体的な事例の考察を通して学びます。また、合理的な流通管理や円滑なサービスの提供を可能にしている情報システムの概要について具体的な例を取り上げて学びます。 ・行動の観察、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	○	◎

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、ノート、発表	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 技能	小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	ビジネス経済応用	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	ビジネス経済応用 (実教出版)		
副教材等	ビジネス経済応用問題集、全商商業経済検定模擬試験問題集 ビジネス経済B (実教出版)				

学習の目標	1 企業の経営、経済活動に関する基礎的・基本的な知識を学びます。 2 国際社会の一員としての心構えについて学び、国際的なビジネスの諸活動に適切に対応できる能力と態度を身に付けます。
学習の方法	・国際的なビジネスに必要な経営・経済の基礎的知識を、具体的事象や事例を通して学習します。 ・教科書中心ですが、問題集や資料などを適宜利用します。また、新聞記事なども利用し、感想等を発表し、経済事象についての考えをまとめていきます。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 サービス経済化とサービス産業	・企業活動の内容や、企業が果たす役割について理解し、企業が成長するための要因や方策などを学びます。また、企業の国際化・グローバル化の様子について、具体的に見ていきます。 ・行動の観察、課題プリント、ノート、発表、定期考査	◎	○	-	○
1 学期 末	第2章 経済の国際化	・戦後から今日に至る社会の大きな変化の中で、わが国日本の企業が発展してきた背景を理解し、日本企業の経営の特質について学びます。また、変化の激しい経済社会に、企業経営がどのように対応しているかを学びます。さらに、経済社会の一構成要素として企業の社会的責任について考えます。 ・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 中間	第3章 金融市場と資本市場	・企業や私たちの生活の営みである家計が構成している国の経済にスポットをあて、わが国の経済社会の変化について、生産・労働・消費の側面から学びます。また、私たちの国の経済の状況はどのような指標で表されているのかなど、経済のしくみについて学習します。さらに、政府の経済活動のしくみと、我が国の金融のしくみについて理解します。 ・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	-	◎
2 学期 末	第4章 企業経営	・貿易の役割や動向について学ぶとともに、国際収支について理解します。また、外国為替のしくみや、国際的な資金の流れについても学習します。さらに、我が国企業の海外進出の動向や海外進出にともなう企業経営の現地化、国際マーケティングの活動内容とその手法について学びます。 ・発表、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	◎	○
3 学期	第5章 ビジネスの創造と地域産業の振興	・国際ビジネスにおいて生じる諸課題を具体的に取り上げ、その問題点や対策について考えます。また、戦後から現在に至るまでの国際経済体制の変化や、国際機構の役割について理解します。さらに、地域の発展・成長をねらいとした世界的な地域連携の動向について学びます。 ・行動の観察、課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	○	○	-	◎

- (備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント、ノート、発表	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、定期考査	20
③ 技能	小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、ノート、小テスト、定期考査	50

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	経済活動と法	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	経済活動と法 新訂版 (実教出版)		
副教材等	経済活動と法 問題集 新訂版 (実教出版) ・ 精選 条文手帳 (実教出版)				

学習の目標	ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な知識を習得し、経済社会における法の意義や役割について理解するとともに、経済事象を法的に考え、判断する能力と態度を身に付けます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・法律用語がたくさん出てきますが、ビジネスに必要な法規に関する基礎的・基本的な用語を確認してください。 ・教科書や問題集の事例をもとに法規を具体的な経済事象と照らしながら理解を深め、法的な思考や判断を行います。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	1章 経済社会と法	<ul style="list-style-type: none"> ・法とはどのようなものか、その本質を明らかにし、法の体系を学習します。 ・法の分類、効力、適用と解釈など基本的な事柄を学習します。 ・課題プリント、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査 	◎	○	○	○
	2章 権利・義務と財産権	<ul style="list-style-type: none"> ・法律関係が権利・義務の関係で成り立っていることを理解し、権利・義務の主体である自然人や法人について学習します。 ・課題プリント、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査 	◎	○	○	○
1 学期 末	2章 権利・義務と財産権	<ul style="list-style-type: none"> ・財産権についての理解を深めます。特に「物権」について詳しく学習し、経済生活がものをめぐる生活であることを学びます。 ・課題プリント、小テスト、定期考査 	○	◎	○	○
	3章 財産権と契約そしてその保護	<ul style="list-style-type: none"> ・財産権の変動や権利の発生・変更・消滅はほとんどが「契約」によって行われていることを理解し、契約の具体的な内容について詳しく学習します。 ・課題プリント、小テスト、ノート、定期考査 	○	○	○	◎
2 学期 中間	4章 企業活動に関する法	<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動を取り巻く法律関係について詳しく学習し、商取引に欠かせない「手形」や「小切手」に関する法律関係についても詳しく学習します。 ・課題プリント、小テスト、パフォーマンス評価、定期考査 	○	◎	○	○
2 学期 末	5章 取引に関する法	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活を守る法律の存在について学習し、労働に関する諸規定について理解を深めます。また、家族に関する法律関係についても学びます。 ・課題プリント、ノート、小テスト、定期考査 	○	○	○	◎
3 学期	6章 企業の責任	<ul style="list-style-type: none"> ・紛争の予防制度、紛争の解決方法などについて理解を深めます。 ・課題プリント、パフォーマンス評価 	○	◎	○	-

(備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、学年末考査を実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、課題プリント	10
② 思考・判断・表現	行動の観察、ノート、パフォーマンス評価、定期考査	30
③ 技能	小テスト、パフォーマンス評価、課題プリント	20
④ 知識・理解	小テスト、定期考査	40

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	財務会計Ⅱ	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	使える財務会計Ⅱ (ネットスクール出版)		
副教材等	財務会計Ⅱ問題集 (ネットスクール出版)				

学習の目標	1 財務会計に関する知識と技術を習得し、経済社会において会計責任を果たすことの重要性について理解します。 2 会計に関する法規や基準の変更に対応し、会計情報を利害関係者に提供し、活用する能力と態度を養います。
学習の方法	・変化する企業環境と会計ビッグバン以降の会計に関する改正事項をまとめながら、具体的な実務の処理方法を学んでいきます。内容は、高等学校で学ぶ科目の中でも難しいものもありますが、教科書や問題集の例題をまじえながら計算の方法を実践的に理解できるようにします。実際の会計処理をしっかりと考えながら知識と実践力を身に付けていきます。 ・全商会計実務検定試験(12月)の受験は、希望者としています。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	Chapter1 財務会計と 会計基準	・今日の企業環境がどのように変化しているのか、そして、その変化に会計実務がどのように対応しているのか、さらに会計ビッグバンや会計の国際化の現状を理解し、会計実務の果たすべき役割、資産の評価基準、金融資産について学習します。 ・行動の観察、グループ活動、課題プリント、ノート	○	○	-	◎
	Chapter2 資産会計					
	Chapter3 期末棚卸資産(商品)の評価					
	Chapter4 有価証券					
1 学期 末	Chapter5 固定資産	・今日の会計実務には、新しい領域がたくさん取り入れられています。固定資産の評価方法、減損会計、また金融負債の評価方法さらにはリース会計について学習します。 ・行動の観察、グループ活動、小テスト、定期考査	○	○	-	◎
	Chapter6 減損会計					
	Chapter7 無形固定資産					
	Chapter8 負債会計					
	Chapter9 リース会計					
2 学期 中間	Chapter10 外貨換算会計	・外貨建取引の会計処理、純資産の意味と分類、さらには企業のグループ化とはどういうことをいうのか、そして企業グループの連結財務諸表は、どのようにして作成するのか、その手続きを学習します。 ・行動の観察、グループ活動、課題プリント、ノート	○	○	-	◎
	Chapter11 純資産会計					
	Chapter12 企業会計					
	Chapter13 連結会計					
2 学期 末	Chapter14 持分法	・持分法の基礎知識と処理、財務諸表項目の換算、キャッシュ・フロー計算書、さらには税効果会計についても学習します。 ・行動の観察、グループ活動、小テスト、定期考査	○	○	◎	-
	Chapter15 在外支店					
	Chapter16 キャッシュ・フロー計算書					
3 学期	Chapter17 税効果会計	・有価証券報告書と連結財務諸表から得られる連結情報について学習します。また、企業価値の評価、財務諸表分析と株価について学習します。 ・行動の観察、グループ活動、レポート	○	◎	○	-
	Chapter18 財務諸表の活用					
3 学期	Chapter19 監査と職業会計人	・信頼できる財務諸表を作成するための会計責任と監査制度、職業会計人の職務と社会的役割について学習します。 ・行動の観察、グループ活動、レポート	◎	○	○	-

(備考) 1 1,2学期の定期考査は、中間・期末に行う。3学期は、実施しない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、グループ活動、課題プリント、ノート	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、グループ活動、小テスト、定期考査	30
③ 技能	小テスト、定期考査	20
④ 知識・理解	課題プリント、定期考査、ノート、レポート	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60~80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	商業	科目	電子商取引	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	電子商取引 新訂版 (東京法令出版)		
副教材等					

学習の目標	1 情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を身に付けます。 2 電子商取引にかかわる実践的な学習を通して思考力・判断力・表現力を養います。
学習の方法	・この授業では、「情報処理」で学習した知識・技術をもとにして、情報通信ネットワークを理解し、コンテンツやウェブページの制作する能力を養います。情報通信関連の用語を十分に理解し、パソコンによる実習に積極的に取り組んでください。

学期	単元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 情報通信技術の 進歩とビジネス	・情報通信技術の発展が、ビジネスの形態や広告・広報活動をどのように変化させてきたかを学習します。 ・通信ネットワークを担う企業の役割と業務、個人情報や知的財産権の保護と重要性について学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査	◎	○	○	○
1 学期 末	第2章 コンテンツの 制作	・図形・静止画・動画・音声などのファイル形式やその特徴について学習します。 ・基本図形や組織図、グラフの取り込みと編集方法を学習し、図形情報の効果的な利用方法を習得します。 ・情報を統合することの意義や役割を学習し、情報を統合するための技法を習得します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 中間	第3章 ウェブデザイン と広告・広報	・ウェブページを製作するための手順について学習します。 ・HTMLの基本的なタグやスタイルシート (CSS)、JavaScriptの利用方法を学習し、ウェブページ作成ソフトウェアやワープロソフトウェアを利用する方法で、ウェブページを作成する基本的な技法を習得します。 ・課題プリント、小テスト、実習作品、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	第4章 ウェブページ の公開	・通信ネットワークの仕組みや役割について理解させるとともに、ウェブページを管理・運営するために必要なネットワーク機器の基本的な知識を学習します。 ・ウェブページを公開するための手順について学習し、インターネットの基礎的な知識を習得します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査、実習日誌、実習作品	○	○	◎	○
3 学期	第5章 電子商取引と ビジネス	・電子商取引サイト開業に必要な手順を学習し、店舗運営を行うための基礎的な知識を習得します。 ・電子商取引を行うためのシステム構築方法を学習し、ウェブページ作成ソフトウェアやフリーソフトウェアを使って構築する技法を習得します。 ・課題プリント、パフォーマンステスト、実習日誌、実習作品	○	○	◎	○

- (備考) 1 1、2学期の定期考査は、中間・期末に行う。学年末考査は行わない。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント、実習日誌	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、パフォーマンステスト、課題プリント、実習日誌、定期考査	20
③ 技能	小テスト、実習作品	30
④ 知識・理解	課題プリント、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、50～80%程度とする。

令和4年度 シラバス

教科	商 業	科目	ビジネス情報管理	学年 学科 類型	3年 商業科 I型
単位数	3	教科書	ビジネス情報管理 (実教出版)		
副教材等	「ビジネス情報管理」システム開発作品集(校内発行)				

学習の目標	1 企業内の情報通信ネットワークを構築して、円滑に運営する知識と技術を習得します。 2 販売情報システムや財務情報システムを開発する知識と技術を習得します。 3 ビジネスの諸活動において情報を管理し、共有することの意味や必要性について学習します。
学習の方法	この授業では、情報ビジネス科で2年間学んだ知識をもとに、データベースのシステムを作る実習やソフトウェア開発の手順を学び、システム開発を行います。実習の多い授業となるため、特に授業は集中して取り組みましょう。

学期	単 元	学習内容とねらい	観点別評価			
			①	②	③	④
1 学期 中間	第1章 ビジネスと情報システム	・ビジネスの諸活動における情報システムの活用を取り扱い、業務を合理化するための情報システムの必要性について学習し、セキュリティ管理を行うための基礎的知識と技術を習得します。 課題プリント、小テスト	◎	○	○	○
1 学期 末	第2章 情報通信ネットワークの構築と運用管理	・情報通信ネットワークの仕組みと通信方法、ネットワーク機器の種類と機能などを取り扱い、情報通信ネットワークを構築し、円滑に運用管理するための基礎的知識と技術を学習します。 課題プリント、小テスト、定期考査	○	○	○	◎
2 学期 中間	第3章 ビジネス情報システム開発	・ビジネス情報システム開発に関する基本的な知識と技術を学習します。 ・課題プリント、小テスト、定期考査	○	◎	○	○
2 学期 末	第4章 システム開発実習	・グループに分かれて、システム開発を行います。12月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。 ・システム開発日誌、課題プリント、システム開発作品発表、定期考査	○	○	◎	○
3 学期	第5章 システム開発冊子の作成	・グループに分かれて、システム開発の冊子を作成します。1月下旬にグループ別に作成したシステムについての発表を行います。 ・課題プリント、システム開発日誌、システム開発作品集	○	○	◎	○

(備考) 1 1学期の定期考査は中間、2学期の定期考査は中間・期末に行う。3学期は、開発実習の評価のみとする。
 2 中間考査の評価は、考査の素点とする。

評価の観点と方法

評価の観点	評価方法	割合(%)
① 関心・意欲・態度	行動の観察、発表、課題プリント、システム開発日誌	20
② 思考・判断・表現	行動の観察、発表、課題プリント、システム開発日誌	20
③ 技能	小テスト、システム開発作品	30
④ 知識・理解	課題プリント、定期考査	30

(備考) 各観点における、定期考査の割合は、60～80%程度とする。